



Le Vent
ル・ベール山の会

『ニューカレドニア記』

ニューカレドニアといえば『天国に一番近い島』
そう、50年以上も前に作家・森村桂さんの作品で有名になりました。
オーストラリアの東に位置し、年間平均気温約25度の温暖な気候のリゾート
島です。
関空からエアラン直行便で約8時間半、時差も2時間。日本に一番近いフラン
スです。

世界最大のラグーンは世界自然遺産です。
首都ヌメアはフランス領ならではの美しい街並みやコロニアル様式の建築物、
白い帆船などが魅力的。また、美食の街でもあります。

私はランチは海上レストランでチョット贅沢なフレンチや、眺めのいい丘の
上のイタリアンで、またはビーチでフランスパンを頬ばったり。

ディナーはマルシェで買った食材と、日本から持参した『さとうのご飯』や『イ
ンスタント味噌汁』などを、コンドミニアムで簡単に済ませました。
物価が高いので、なかなかいい方法でした！

離島イルデパンには80人乗り位のプロペラ機（なんと自由席でした！）で
移動し、この島にはいくつもの美しいビーチがあり、特に『海の宝石』と呼ばれ
るピッシンヌナチュラルは透明度が高く、砂浜もパウダーサンドです。
ただ、ここへ行きつくまでが驚きでした！大きな川（海）を渡るのが橋かと思
いきや、ザブザブ渉るのです。1歳10ヶ月と5歳の幼児2人を連れて、フィンや
シュノーケルを持ちながら渉るのはとてもハードでした。
困難の先には天国の海が待っていて、ウミガメや美しい魚に出会えました。が、
帰りは水嵩が増していてもっと困難でした。

いろいろあって8日間、天国に一步近づいてきました。